

2023(令和5)年度 熊本教区仏教婦人会連盟 活動方針

1. スローガン 念仏に生かされるよろこびを行動へ
2. 活動方針 ご親教「念仏者の生き方」のお心をいただき、「仏教婦人会綱領」の実践に努める
3. 重点項目
 - (1) 新たな「仏教婦人会綱領」に学ぶ。
 - (2) 聞法につとめ、お念仏のよろこびを伝えていく。
 - (3) 「子ども・若者ご縁づくり～キッズサンガをさらに～」に積極的に取り組む。
 - (4) 若婦人の育成、各教化団体への家族の参加、及び初参式、成人式等の参加を奨励する。
 - (5) 御同朋の社会をめざす運動(実践運動)に積極的に取り組む。
 - (6) 現実の社会問題である平和・差別・環境問題に積極的に取り組む。
 - (7) 東日本大震災及び平成28年熊本地震並びに令和2年7月豪雨災害をはじめとする被災者支援に積極的に取り組むと共に、ダーナ・ビハーラ活動を啓発し認識を深め実践活動をすすめる。
 - (8) 2023年に親鸞聖人ご誕生850年ならびに立教開宗800年の慶讃法要をお迎えするにあたり、各教化団体との連携のもと準備を進める。
 - (9) 第17回世界仏教婦人会大会に積極的に参加し、大会趣旨を伝える。
4. 努力目標
 - ① ご本尊を子や孫におくり、ともに朝夕の礼拝を呼びかける。
 - ② 機関誌『めぐみ』を利用して学習と購読を奨励する。
 - ③ 教区仏婦活動と組・単位の活動が一体化し、活性化されるように積極的に取り組む、また総連盟総会への参加に努める。
 - ④ 各寺院の法座をはじめ、組活動並びに組連研等に積極的に参画する。
 - ⑤ 非戦・平和への歩みをすすめ、今私達の問題としてヤスクニ問題の課題を担い、千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要参拝を奨励する。
 - ⑥ 部落差別をはじめ、いじめ、病気に対する偏見、昨今のコロナウイルスにまつわる医療従事者への差別等、いのちの尊厳を損なう問題に、傍観者とならず積極的に取り組む。
 - ⑦ 男女共同参画について考え、身の回りの課題に取り組む。
 - ⑧ 単位の拡充・活性化のために広報紙「こすもす」を発行する。